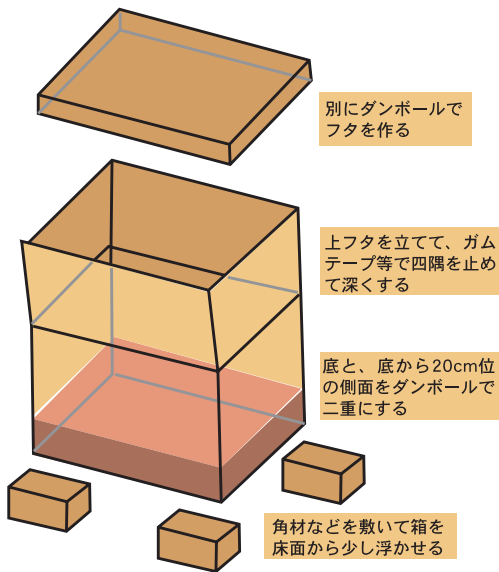


# 段ボールコンポストに挑戦



## ■用意するもの

- ・ダンボール箱（縦30cm×横45cm×深さ30cm…10kgのみかん箱程度の大きさ）、その他、フタを作ったり底を二重にするためのダンボール。
- ・ピートモス（有機質土壌改良剤）、もみがらくん炭、「ピートモス」と「もみがらくん炭」を使う代わりに、コンポスト用に配合済の「ピートくん」を使うこともできます。

## ■どこに置いたらよいか

- ・温度が15℃以上となる場所に置きます。
- ・箱の下に角材、積木、ラップの芯などを敷き、床面から5cm程度浮かせ、壁からも5cm程度離して置きます。これは通気性を良くするためです。
- ・名寄市では春先から秋位まで使用可能です。

## ■生ゴミの入れ方

- ・生ゴミを入れ、シャベル等でしっかり混ぜます。
- ・生ゴミはなるべく新しいうちに小さく切ったものを用意すると、かき混ぜやすく分解も早いです。
- ・1日500～600g（三角コーナー1杯位）処理できます。量が多くなる場合は翌日は入れないか箱を増やすなどの工夫をしましょう。
- ・2週間ほど経つと、微生物の活動が活発になり、温度が上がってきます。それまでよくかき混ぜましょう。

## ■毎日の管理

- ・生ゴミを入れるたびによくかき混ぜ、空気を入れます。ゴミを分解する微生物の活動をよくするためです。
- ・防臭、防虫、保温のため、必ずフタをかぶせておきます。

## ■いつまで続けるか

- ・上手に管理すれば、1箱3ヶ月くらいで、30～40kgの生ゴミが処理できます。
- ・箱が湿り気でふくらんできたら、1～2日入れるのをやめるか、ピートくんを加えるなど工夫してください。
- ・ピートくんがべたついてきたり、塊が多くなってサラサラでない状態の「ダマ」になったら終了です。

## ■終了後は？

- ・生ゴミの投入をやめ、1～2週間ときどきかき混ぜます。
- ・その後、土と混ぜ、さらに1～2ヶ月置きます。（半年くらい寝かせるのがベスト）

## ■投入しない方がいいもの

- ・塩分を多く含むもの（塩鮭、塩辛、漬物、ぬか漬の床など）
- ・トウキビのしん、ぶどうや梅干などの種
- ・鶏がらや豚骨
- ・シジミやアサリの貝殻
- ・防腐剤を塗布してあるレモンの皮など輪ゴムやプラスチック類が間違っって入っていたら取り出します。

